

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファンファーレ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりの意思を尊重しながら発達段階や特性に応じた支援が実践できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の様子を報告・共有を綿密に行い、利用者一人ひとりの特性に応じ、スモールステップで達成感を得られる個別課題を設定している。 ・視覚的な情報を活動した支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員がより一人ひとりの個別支援計画書に記載されている目標等を把握して支援が実践できるように、日常的に確認できる体制を作る。 ・支援内容の振り返りを定期定期に行い、継続または改善していく。 ・専門職員による研修を実施し、その他職員のさらなる専門的な知識への理解を深める。
2	職員それぞれの強みを生かした小集団の活動を毎日提供することができているため、それを楽しみに来所してくれる児童が増えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・平日に小集団活動(ミニイベント)を行うことで利用者が集団活動に慣れるための環境を提供している。また実施目的を職員間で共有することで同じ活動の中で利用者それぞれに合った声かけができている。 ・発達支援の5領域を意識した活動を展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりのスキルアップを行う。他の職員のスキルを自分であればどう活用するかを考えて活かしていく。 ・苦手なことにも楽しみながらチャレンジができ、伸び伸びと活動できるようなプログラムを考える。
3	保護者にその日の支援内容の共有ができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムや送迎時に保護者へその日の支援内容や利用者の成長等を細かくお伝えしている。 ・保育園や幼稚園お送りでなかなか保護者に会えない場合は、LINEにて利用者の様子を伝えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きSNSやブログの更新を行い、情報発信を積極的に行う。 ・保護者参加型イベントを定期的実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上死角になる部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・カーテンで仕切って空間を分けることができる反面、利用者がカーテンを自分で開けて抜け出すことや、身体が大きくなると簡単に扉を超えられてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置を常に意識し、職員間の連携を密に図ることで見守り不足にならないようにする。 ・利用者へ施設のルールをしっかりと伝え、理解してもらう努力をする。
2	様々な職種経験や経験年数の違う職員がいることを生かせていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で振り返りや支援方法について話し合う時間が確保しづらい。 ・他の職員の強みを真似することやアドバイスをし合う機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修等へ参加し支援の質の均一化を図る。 ・言語聴覚士や心理担当職員などの専門の職員より研修を実施してもらい、個々の知識を深める。
3	地域との交流が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園、他事業所とは利用者に関する情報共有等で関わる機会があるが、センターや地域の方との交流はなく施設の情報発信をあまりできていない。 ・保護者参加型イベントで保護者に活動を見ていただく機会はあるが、なかなか保護者同士で話す機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者などから必要とされている交流方法などを聞いて検討する。 ・イベントの内容に交流する場を設けることを検討する。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	ファンファーレ					公表日	2026年 3月 1日			
					利用児童数	31		回収数	14	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	0	とても広々として過ごせているようで良い。	今後も安全面を重視した施設環境を意識して運営してまいります。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	14	0	0	0	広くて清潔で活動しやすい。 個室もあるので、個人レッスンも可能で良い。	子ども達の特性なども意識し、活動に合わせた空間作りを行っていきます。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1	0	0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	0				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	1	3	外部の子供たちとの交流の機会は少ない。	今後は外部との連携も密にとり、事業所内での支援に生かせるように努めてまいります。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	2	3				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	0	6				
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	1	ブログやお手紙など、情報発信されていて満足している。	保護者様にも安心して通ってもらえるように、引き続き情報発信を行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	優しさにあふれ、子どもが安心して通所できる第二の家のようなところになっている。	安心して通っていただけるようにこれからも子どもの気持ちに寄り添いながら支援してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	0	時々行くのを嫌がったりするが、施設では楽しく過ごしている。お友達や先生の名前を言いながら楽しみに通所している。	楽しい場所として、これからも通っていただけるように、様々なプログラムを取り組んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	きめ細かいサポートと声掛けに感謝している。様々な相談に対応していただき、子どもに合った支援をされている。	今後もお子様や保護者様からも満足してもらえるように、適切な支援計画を作成し、計画に沿って支援を行ってまいります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	ファンファーレ		公表日		2026年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0		児童の見守りに職員1名が対応しないといけない場合、職員間の連携がうまく図れないときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0		認められる環境にはなっているが、タイミングによっては難しい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0		振り返りをもとに新しい目標設定を全職員が意識することが必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	全体の意見の把握は難しいが、話し合いの場は設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	確保されているが、頻度としては少ない	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1		保護者との意思統一したもとで実施した支援計画がある程度の成果が出るまで継続していくべきである。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3		まだその段階まで至っていない。 よりよい支援を個別で実施していくためには必ず必要である。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	4		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	5			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		送迎時の共有で家や園での様子を聞いている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		連絡を取り入れるツールを活かして常に悩みや相談を受け入れている

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3		地域との関わりは少ない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	色々な状況を想定した訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0		